

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校
学校だより No.12
令和元年(2019年)11月18日

粘り強くがんばる子

「はつらつ」「ほがらか」「やり抜く力」を、学校のめざす子どもの姿として取り組んできて半年が過ぎました。

11月15日(金)の校内マラソン大会では、どの子どもはつらつと、粘り強く完走する姿が見られました。校内マラソンでは、人と比べず、順位に惑わされず、自分のめあてを決めて取り組んできたはず。そしてその自分で決めた「粘り強い積み上げ」が、成果となって現れ、順位でない満足感や達成感として子どもたちの結果につながってほしいものです。

子どもたちに聞いていると、なぜマラソン大会をするのかと聞いてきますし、しんどいし、苦しいし、こんなに厳しい行事はいやだなあとと思っている児童が大半のようです。マラソンでは、単に体力の増進だけでなく、気力や根気を求めているのではないのでしょうか。大人になってわかる日が来るとよいのですが、持って生まれた体力や能力よりも、「前向きに考える力」や「この場を我慢する力」が、人生では大事になるところが来ると思っています。



【当日は、試走の時とはまた違う大逆転があり、デッドヒートがあり、学年の個性があり、数分間の間に数多くのドラマがありました】

延期になり、応援を予定していたが叶わなかったというお声もありましたが、子どもたちは、沿道の方々の声援や応援に励まされて、最後まで走り抜くことができました。お家の方にも体調管理や日々の励ましの言葉がけなどで大変お世話になりました。これからもどうか変わらぬご支援・ご協力の程よろしくお願いたします。

学校支援ボランティアさんにお世話になりました

マラソン大会の安全確保のために、たくさんのボランティアさんにご協力いただきました。コース監視だけでなく、お声かけや励ましをずっとしていただき、子どもたちも最後までがんばることができました。ありがとうございました。



【ひとり一人に励まし】



【コースの安全確保】



【走ったり自転車での伴走】

そのほかにも、子どもたちのためにと



【ボランティアさんによる剪定で前庭が美しくなりました】



【ジブラルタ生命さんが台風災害見舞いにタオルを寄贈くださいました】

